

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦が角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

小春日和に古い書道雑誌の整理をして、京都の漢字の大家の大学時代の勉強方法の記事を見つけた。王鐸を半切に一日十枚臨書。一週間で七十枚になり、それを批評してもらおうというのを続けたとあった。ああ、こうして、腕に目に、そして脳に覚えさせていくのかと感心した。やはり、毎日の努力が肝心ということ。

今回の作品の中で、俳句作品に線の表情のある作品がたくさんあり、多様な線は、作品効果抜群で芸術性が高まることを実感。多種多様な良い作品を手本にして日々鍛えましょう。

かな部 次号課題

A 聞かやいかにはの空なる風だにも

松に音する習ひありとは (宮内卿)

B 玉ばしる水四五滴や初硯

(田辺正人)

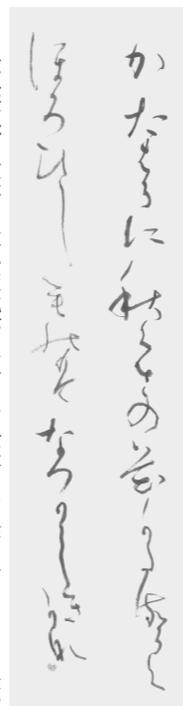
あなたはどのようにお聞きでしょうか。空を吹く浮気な風でさえも、地上の松に音をたてて訪れる習わしのあるものであるということ。
 ・新春、改まった気持ちで用いる硯を初硯という。書をしたためようと硯に水を注ぐ。すると硯の上を水滴が走るののである。

優秀作品

〈師範・準師範の部〉



八木清子 手慣れた余裕の作。墨色、潤濁変化も見事。



小塩美映 文字の大小変化が上手く、全体に神経の行き届いた作。

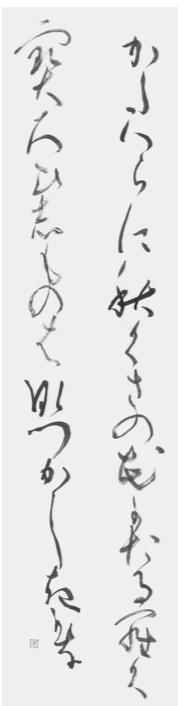
〈助教以下の部〉



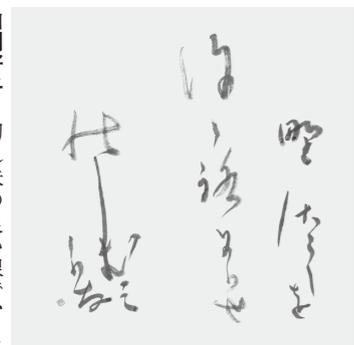
位ノ花葉子 多様な線を駆使し、情感豊かで水墨画のよう。



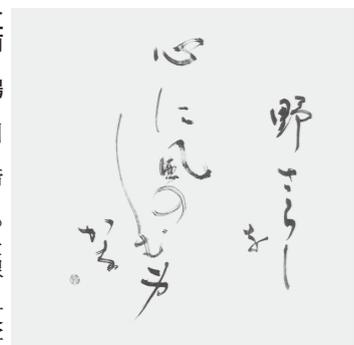
後藤幸子 確実な筆づかいで安定感のある作。



野間千秋 柔和な線と大きな構えに好感を持つ。



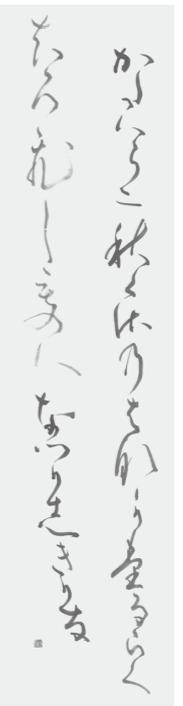
山岡好子 切れ味の良い線で、スケール大きく書けた。



江南鶴 引き締まった線と文字造形で、大きな余白が生きた。



松下恭香 線の表情に工夫があり、配置も成功している。



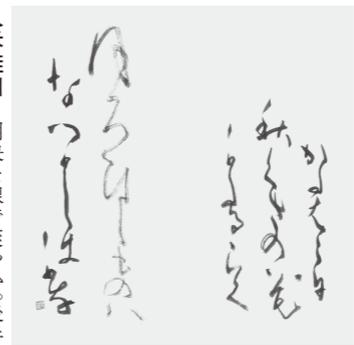
山口紫煌 連綿を効果的に使い、心地良い流れで堅調な書きぶり。



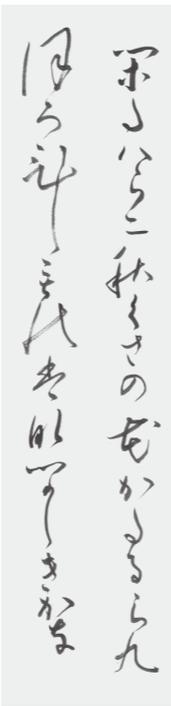
寺尾照華 長くなる「し」耳を有効に使い、表情豊かで魅力的な作。



國村敬香 丁寧な筆致で無理なくまとめて佳作。



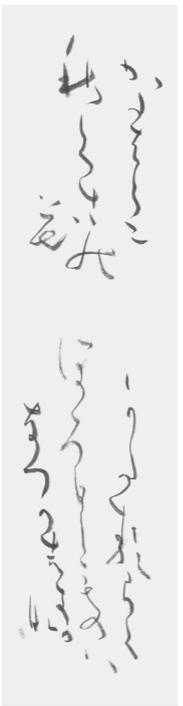
久米娃田 明快な線で爽やか。後半部の下部は右傾させ、最後は小さく。



辻 君江 無理のない書きぶりで、一定のリズムが心地良い。押印要。



田中資子 文字の揺れと添え方が心憎い。墨継ぎ箇所を一考。



井上真紀子 力まず流暢。傾斜、行間も絶妙で良い。



永木美由紀 行の揺れと文字造形の妙が表現されて魅力となった。



石田孝子 達者な筆致で細太変化が見事。行間にも工夫を。